



シルバー日向岬

第5号

平成5年7月10日

編集発行

社団法人
日向市シルバー人材センター

〒883 日向市中町7956-9
TEL (0982) 52-2200

■ 絶壁・柱石・20キロにわたる柱状岩の連続

リアス式の美しい海岸線を一望する日向岬スカイラインは、青い海原とそそり立つ断崖絶壁の大パノラマがみごと。なかでも細島灯台の下「馬ヶ背」は、谷底まで70メートルの断崖、日向灘の荒波と谷底から吹き上げる風に足がすくむほど。海上遊覧船による柱状岩の睥めぐりもまた違った眺め、このあたり一帯は、日豊海岸国定公園です。

理事長あいさつ

日向市シルバー人材センター

理事長 和田 助一



本市のシルバー人材センターは、平成四年度は、景気の低迷が長期化している中にもかかわらず、受託件数一、八五七件、就業延人員三〇、四二九人日、契約額一四〇、七〇八千円と前年を上回る実績で、年毎に極めて順調に伸展してまいりました。

このことは、本センターが地域社会の高い評価と信頼を得て着実に浸透いたしているもので、会員一人ひとりが、自主、自立、共働、共助のもとに真面目に仕事に取り組んだ評価で、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

急速に進む高齢化、更には国際化、高度情報化の進展などにより、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、市民の要望は多種多様化、高度化しております。

特に人生八〇年代といわれる長寿社会を迎え、生活の質的向



上や心の豊かさ、生きがいのある人生を求める市民の声は、一段と高まってきております。

シルバー人材センターの基本理念を再認識し、すべての人が満足できる高齢化社会システムの一環としての役割、分担が果せるように努力と情熱を持たなければならぬと思います。

そのためには、広く深く掘り起し本事業の普及啓発とともに、家庭、社会の人びとからさらに愛され信頼されるとともに、地域社会の活性化につとめることが肝要であろうと存じます。

常に心身の健康に、又安全就業及び交通事故等には、特に留意されまして、より飛躍的發展のためなお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

「平成5年度通常総会開催」



五月二十九日(土) 総合福祉センターに於いて、出席者一九六名(委任状提出者六五名)並びに市長、市議会議長のご来賓の方、多数ご臨席いただき盛大に開催されました。

和田理事長が挨拶したのち、ご来賓の皆様から激励とお祝いのメッセージを頂戴し、議長団に黒木利光氏、井上繁氏を選出し、議案の審議に入りました。

- 第一号議案
- 平成四年度事業報告
- 第二号議案
- 平成四年度収支決算報告
(監査委員からの監査報告)
- 第三号議案
- 平成五年度事業計画案
- 第四号議案
- 平成五年度収支予算案
- 第五号議案
- 役員改選

等の提出議案について、事務局より詳細に説明がなされ、慎重審議ののち、全議案は原案通り満場一致で可決承認されました。

終始、和やかな雰囲気の中に、会員各位のご理解ご協力により、無事終了したことに對し、衷心よりお礼申し上げます。

交流演芸会に

ついて

毎年五月が待遠しい、それは人材センターの総会、全員とはいかないが、大半の会員が一堂に集い、日頃接することの少ない皆さんとお会い出来て、互に近況を知るひとときでもございます。

この会合の中に、交流演芸会が計画実施されました。先づ、財光寺健康教室の日向音頭で開幕、日頃練習されている姿を、ありありと思ひ浮かべ、和やかに踊っていたきました。尚女性の中に男性の参加があり花を添えていただきました。

本郷Aの小田マサさんのカラオケの夢追女、若い人にも負けない艶のある美声を聞かせてもらいました。

本郷Bの植木ユキエさんの民謡、シャン・シャン馬道中唄聞いていて、自然に囃子がでてハラセ、コンキー コンキーと声を出してしまいました。

踊り、枝郷A、児玉カネ子さんの、ひえつきしぐれ。幸脇黒木ウメ子さんの、恋つつじ、財光寺E 一枝栄子さんの 出



世街道、色気の漂う、しなやかな踊りに気持も和み、うっとりするばかりでした。

本郷B 黒木喜市さんの、夫婦春秋、余程練習されたと見えて、甘い声で持味を充分發揮されました。来年を楽しみにしております。

本郷A 矢野義夫さんの民謡青森県津軽山唄、渋い声で、而も尺八の伴奏なしで、音程もしっかり唄いあげました。

枝郷A 三輪政次郎さんの、カラオケ祝い船 誰でも一度は唄ってみたい一曲です。最後のトリを占めくり、感心しました。

皆さんが、こんなに広く、沢山な趣味を持っておられることは、大変嬉しい限りです。老後を明るく、楽しく、元気で迎えるためにも継続されることを望みます。

「年をとることは誰にでもきます。しかし、美しく年をとることの何とむずかしいことか」と言ったのは大宅壮一さんだったと思います。「美しく年をとる」ということは、心を磨き、知恵を育てて年輪を重ねることだと思います。

演芸大会に参加して

財光寺D地域班

堀谷 マツエ



たくさんの人が総会に出席しました。

私の隣にいたTさんは、初めての参加で、「すごい人ね!」とびっくりしていました。総会も終わりのよいアトラクションの時間となり、私たちの「日向音頭」が最初でした。皆さん上手に踊っておりまして。

他人の踊りに気をとられ間違えそうになりました。だって初めて踊るといふ勇気のある人もいたのだから。練習は、ただ一度センターの二階を借りて一時間程やっただけなのに、それも雑談を交えての事でした。なかなか覚えがいい、年若いでも呑み込みがいいと言うことは、まだまだ捨てたものではありません。歌や踊りが続いて、年齢を全然感じさせない身のこなしにはおそれいました。春原の老人福祉センターと一緒にカラオケを楽しんでいるAさんのう

まさには感心しました。歌も踊りも観るのは楽しいけれど、自分で歌うも踊るも気分最高。アトラクションの時間を盛り込まれた企画すてきです。又次の会にも皆さんと一緒に!





抽選大会

抽選会について

平成五年度通常総会が五月二十九日、日向市総合福祉センター二階の会議室に於いて開催され、はじめてのこのころみとして最後に抽選会がありました。

センターの職員の方が抽選箱の中をよくかきまわして当たりくじを一枚えらびますと声高くと局長が当選番号を読みあげます。

会員の皆さんが各自手元を持っている番号をチラッと見てガツカリした人、当たった人の嬉しそうなあの顔、中にはアルコールの力添えもあっているいろいろな言葉が飛び出て、とても楽しい抽選会でした。

賞品も盛りたくさんありましたが自分の番号がいつ当たるかそれにつられてただ一人の退散者もなく最後の解散までつきあわされました。昨年の総会では、会がながびいたので交流会を見らずに帰る人が多かったのですが今年には抽選会があったのでほとんどの会員が最後までおりたいへん良いところみであったと思います。

抽選会を企画されたのは事務局と聞いています。今後もよろしくおねがいます。



会場の一コマ



会員のひろば

合言葉

富高A地域班長

村 矢 光 雄



「まだ生きちよつたね」「うーん何とか息だけはしとるばい」と、久し振りに仕事と一緒にになると、まず第一声がこの挨拶がわり・・・。

この言葉こそ会員だけが知る我が友と言え、心の支えでしょう。石の上にも三年と言いますが、未知な世界に飛びこんで早四年目、不安な日々も薄らぎ、何とか人の尻についてゆけるようになりました。これも共通する会員のお陰と感謝している今日この頃です。皆さんの心の中は、個人的にちがいますけど、収入面の使い方は一緒じゃ

ないでしようか。

愛飲家は酒の足しに、女の方は孫の小遣いにと・・・。

タンポポの花の風に飛ばされ、未知な土地へ、配分金も同様何処へとなく静かに消えてゆく、私もそうです。すぐ孫と約束してしまふのです。子供は言ったことは決して忘れてはいません。時たま来て、「何か忘れてはいませんか」と、私は何の事か分からずに聞いて見ると、「何か買ってやると言ったでしょう」と・・・。

「チイちゃんも、だいぶボケたねえ」とこれです。

考えて見ると、本当にそういう年頃かなあと、淋しくもなり可笑しくもなってきました。私の心、心のふれ合いを大切に、会員の皆様元気で楽しく愉快に頑張りました。

事務局職員の益々の御健斗と、併せて会員の為に尚一層の心遣いを祈りつゝ、

「いたずらに、石をけつたら我こけた」



シルバー人材センターに入会して

財光寺D地域班

酒 井 豊 子



シルバー人材センターのあることを知り、私に役をして、県から配布された高齢者ハンドブックで、人生の道がだんだん細くなつていく現況で、三十年住み馴れた土地を後に平成四年六月日向市に転出してきました。

今迄のように行事とか訪れる人もなく、健康と出会いのため、一日でもいい、出かける機会が欲しいと思いきやセンターを訪ねました。最初の仕事に掃除機を一式渡されたとき事務しかしたことがなかったので戸惑いました。

視察慰問に三回ほど行ったことのある永寿園に、一週間入浴のお手伝いもしましたが職員の方もたいへんと思いました。仕事の帰り知人と出会い詩吟を勧められ教室に通うようにな

りおかげで色々な体験と出会い街の地理も分り少しずつ日向市に馴れていくきっかけができました。高齢になって働くことは素晴らしい、会員の皆様もセンターの顔を汚さないよう頑張っておられることと思います。

緊張は健康の源、私にとってプラスになっていると思っております。

安全に就いて

本郷B地域副班長

平 田 勝



来る五月二十九日、シルバー人材センターの第四回目の総会を、迎える事になります。早いもので、私も入会以来四年の年月を過ぎてきました。

当時からしますと、センターの隆盛、喜ばしいかぎりであり

ます。さて本題にうつります、我々は、絶対に怪我などしない、他山の石だと思っていました、他樹木から転落して怪我をしました。報告ついでにペンを取った

次第です。

去年の盆過ぎ、門川西栄町に、剪定に行った時、午後四時頃、一番最後のイモグス(学名クロガネモチ)上部の部分が終って脚立に片足を掛けた時、脚立が倒れて約二米五十位の所より転落、とっさに下がコンクリートなので両手で頭を覆った。幸なことに、下の大きな枝に当たって落ちた、左の手が上だったので、手の甲がべらつとむけて、二週間位治療がかりました。

もし手で、頭を抱えなかったら、どうなっていたかと思う時、ゾツとします。つくづく骨身に染みました。

基本通り、高木の剪定は、必ず脚立と樹木を、ロープで結ぶことを習慣として身に付ける事、肝に銘じて、実行したいと思えます。

最後に局長始め、職員の皆様へ安全に就いての、努力深く感謝いたします。会員の皆様方と共に怪我をしないよう留意して、親睦を深めていきたいと思えます。

今この時に感謝の気持ち

枝郷B地域班

村上 喜美子



「こんにちは」と訪問する。

あら来てくれましたか、寝たまの姿で、両手を広げて迎えてくれるおばあちゃん、私は介護ヘルパーを経て、現在センターの在宅介護として、お世話させてもらっています。ヘルパーを退職しても、そうした思いを捨てきれず制約されず、気負わず、自分の気持ちに忠実に又、健康な者の務として、お役に立てればと願っております。

その可愛いおばあちゃんも92才、少し難聴だけれど、元気が余り転んで腰を痛め、寝たきり、でも体調の良い時は、懐かしそうに若いあの頃を思い出して大きな声で歌を唄い、布団から両手を出して、手振りも上手に踊ってくれる。私も一緒に一緒に踊る。こうした楽しい一時が介護者としての、気持ちから離れられない原因だと思います。多くのおじいちゃん、おばあ

ちゃんに接し、人生の悲喜こもごもな機微に触れ、年を重ねるに従って人を恋しがり、人にふれたくなるこれが病を持ち、老いつつある人の最大の望なのだと思います。

全身の清拭と、手浴足浴、軽い手足のリハビリを終え、両手を合せて「ありがとう」とコックリされる、その時こそ心が一つになるぬくもりが、たとえようもなく嬉しい。一瞬健康という宝物、一片一片を分かち合い、共に生きていくという実感を感じ、お互いに支え合うのが真実の人としての理念なのだと思います。私自身も健康に留意し、少しでも長くお役にたてることを念じている毎日です。

私の健康法

長寿健康法 (百歳万歳)

財光寺A地域班

高本 晴吉



人間は百五十才まで生きられ

る。年をとったと感じたら老人である。

◎長生きしたいならば

・死ぬまで体と頭を使い、何か目的のために意欲を持ち情熱を燃やす。

・睡眠は充分に、一日八時間以上。

・年はとつても心はいつも若さを失うな、趣味と仕事をもって、日常生活に自信をもち、生き甲斐を感じる事。

ボケ防止に書道と民謡等の歌は有効である。

・無病息災より一病息災が良い。

・若さを保つための運動を。

・風呂の効用(低温の長湯36℃

37度、気泡浴)。

・バランスのとれた食生活を。

・高齢期に必要な栄養とカロリー。

・高齢期の蛋白質は魚肉から。

・高齢期の脂肪は植物油がよい。

・高齢期の糖質は適当に。

・高齢期に必要なビタミン類、

一、A(うなぎ、レバー、卵、ニンジン、トマト、法連草)

二、B₁(米ぬか、酵母、豆類、玄米食、胚芽米)

三、B₂(牛乳、卵、レバー、緑黄野菜)

四、C(柑橘類、イチゴ、緑黄野菜)

野菜)

四、C(柑橘類、イチゴ、緑黄野菜)

野菜)

菜)

五、D(レバー、いわし、かつおまぐろ、日光浴)

六、E(大豆、えんどう、ピーナツ、甘藷、うなぎ、卵、牛乳チーズ)

・高齢者にはカルシウムを(牛乳、大豆、煮干、小魚)

・食塩のとりすぎは短命(一日10g)

・植物せんいをバランスよく(穀類、菜類、根菜類)

◎社会の役に立つことが、長寿の秘訣である。

発注者の声

センターにお世話になつて

なつて

(有)タイヨー電気

丸山 順一



私共の会社は、JRとリニアモーターの工事を主に受注しています。初めてシルバー人材センター

とのお付き合いはリニアモーターの仕事でした。高架上の仕事で少々の不安はありましたが、五名で延一ヶ月位の工事でも無事終了することができました。毎朝の出勤時間や共助精神そして、誠実な仕事以来毎月のようにお世話になっていきます。特に昨年の雨期五月から炎天下の七月迄三ヶ月間日豊線美々津〜東都農間の速度向上工事には、会員延七百有余人を動員しての難工事でも無事故で竣工検査を終え今更に勤勉な仕事振りには感心させられました。

たまたま同業者が大分市から視察に来て、その仕事を目の当りに見て、今度は大分市迄是非仕事に来て欲しいとのことでしたが通勤は出来ないで、大分市シルバー人材センターを紹介した次第です。お陰で大分市シルバー人材センターより礼状を戴きシルバー人材センターの存在PRに一役買いました。その後も重岡、宗太郎間沿線の伐採工事や踏切工事等々社員の人手不足も解消され大変な助っ人に有難く思っています。社員とのコミュニケーションも上々でこれからも弊社とシルバー人材センターとは、両輪の如く相俟つ

視察研修

八代市シルバー人材センターの視察研修をかえりみて

平岩地域班長

田村 広 繁



てJRのレールの上を走り続けたいと思います。最後になりましたが、シルバー人材センターの益々の発展をお祈り致します。

業備品の状況、地域班・職群班の組織の活動状況、独自事業の運営状況、市発注事業の内訳、安全管理委員会の活動状況、その他の項目について説明を受けました。特に、独自事業として、獅子頭製作をして由緒ある郷土芸能を守るために、創意工夫で商品価値を高めて、八代市の民芸品としての珍しさ、素朴な味わいを生かして本格的な事業として頑張っておられます。

日向市シルバー人材センターの会員の皆様、今後における社会の活性化に果す役割は、益々大きくなると思っております。毎日の注意と努力の積重ねにより健康で益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、最後になりましたが、八代市シルバー人材センターの標語を記しておきます。

「気のゆるみ、慣れの油断が、命とり」です。



綾町役職員研修会に 出席して思う事

富高B地域班長

河野 利 秋



私は、初めての研修に参加して、高齢化社会におけるシルバー人材センターの位置づけと、役員の役割について全国シルバー人材センターの協会の指導を受け、轟守一先生の講話を聞きまして特に考えさせられた事は現在全国の皆様がシルバー人材センターに力を入れていることがわかりました。

県、又は市町村のシルバー人材センターがいかにして今後の役割が重大かと言う事を実感しました。

私は、今後いかにして入会させるか、各地区の班長、副班長の協力が一番の必要だと思えます。

地元の綾町長のあいさつの後乾杯の音頭がありましたにぎやかに楽しく一日が過ぎました。

これからは、県と市と共にシ

ルバー人材センターの協力と会員の皆様の健康を守り今後事故のないシルバー人材センターならびに会員一同の活躍を期待したいと思えます。

第三の人生航路を辿る

財光寺C地域班

高 森 徳 弥



趣味の紹介

この世に命名を受けて六十九年になります。が、お陰様で健康にはまあ恵まれた方ですが、残す人生を楽ししい人生観が湧き出る様な生活が送りたいなど、常に思っています。

人それぞれ話でも趣味、考えがある筈です。

例えば老後の趣味を有意義に活かせば活力が溢れ、人に接する機会も多くなる。

そして楽しい日々が生ずる。接する度に人間関係が深まり、欲びと共に生き甲斐を感じさせられる。

人間で本当に素晴らしいものですよね。

生を発して第一、二、三の航路を辿りながら、みんな順番に年をとって行きますが、問題は老後の人生を如何にして楽しく活かして行くかを考えることが大切だと思えますね。私事を申上げますと、六十二歳で仕事を辞め、考えるうち、子供に何も贈る物すら無いので、親の手形でもと思い書道を習い始め、最初は手が震えて字になりません。

先生の顔をチヨコくと見ると、私ばかりを見張っている感じを受けました。

先生の御指導のもと、現在も生徒同志で楽しく過ごしています。

又、一年後水墨画を習い始め、



本郷B地域班

新 田 峯 一

私の趣味「尺八」

今では時間がもつと欲しいなと思う位です。だから自分で見つけて、残す人生を楽しく生きる事が肝要だと思えます。

そして、余暇の時はボランティア活動を通して多くの人との出会いを大切にして行くことが、私の生き甲斐につながるものだと思います。

カラオケ歌謡の盛んな今日私は、日本独特の名楽器ともいわれる尺八に興味をもち、目下それを楽しんでいるところです。

昭和六十二年の秋、琴古流尺八の門下生となり、以来五年余、週に一時間師匠と一対一の差向いで、じっくりと指導を受け、「首振り三年」のたとえの通り、どうにか人並みに吹けるようになり、先輩と一緒に市の文化行事、施設慰問の演奏に度々参加しています。





私の所属する琴古流は、尺八の流儀としては最も古く、仏教哲学を背景とする「古い本曲」を保持するとともに、箏曲との合奏、新日本音楽、民謡、歌謡曲の演奏等も行っています。又尺八は健康保持、ボケ防止に最も効果があると思います。即ち尺八は呼吸作用による奏法なので、心の乱れ慌てる挙動は呼吸が狂い、拍子や音律が乱れて完全な奏曲ができません。常に精神を高潔に保ち、虚心坦懐であることが要求されるからです。楽しみながら更に精進を続けねばと思う今日です。

県シ協五周年記念祭

「日向音頭」

華やかに舞う

平成五年六月二十三日、宮崎県シルバー人材センター連絡協議会の設立五周年を祝って、宮崎市の宮崎厚生年金会館であり、県内の会員四百人が参加した。記念祭では、清山会長のあいさつ、来賓祝辞などがあり、国民金融金庫の田辺好子調査役が「高齢化社会を迎えるにあたって」というテーマで講演がありました。

各センター代表の会員さんたちのアトラクションがあり、日向市からは、代表森岡健二氏のひまわり会の「日向音頭」で盛り上げ、終始和やかな雰囲気の中、各センター会員との交流などもあり、盛況のうちに幕を閉じました。

ひまわり会メンバーは

- 森岡 健二さん
- 谷口 寿美子さん
- 谷口 繁子さん
- 寺原 典子さん
- 田口 英子さん
- 那須フジミさん
- 中村サチ子さん

堀谷マツエさん
以上八名の皆さんでした。
ごくろうさまでした。



会員研修旅行のご案内

A、日帰りコース 期日7/13

佐土原町営「石崎浜荘」

負担金 三、〇〇〇円

B、一泊コース

期間7/20〜7/21

霧島温泉「霧島観光ホテル」

負担金 一三、〇〇〇円

C、日帰りコース、一泊コース

両方

負担金 一九、〇〇〇円

お申込方法

送られてきた文書の「会員研修申込書」を切り取り、負担金を添えて事務局へ提出して下さい。なお、締切は、7/8です。

会員福利厚生実行委員

寺原 茂英・井上 繁

佐藤ミトモ

安全標語・川柳募集について

唯今、安全管理委員会では、会員からの安全標語、川柳を募集しています。

これは会員の安全に対する意識を高揚させるとともに、就業に伴う事故を未然に防止し、会員の安全な就業を図ることを目的としています。

先日行われた総会時にお渡しした応募用紙に、安全標語、または川柳を書いて事務局に備えて付けてある応募箱に投稿して下さい。

締切りは7月31日(土)
選考、審査を経て、9月発行予定のシルバー安全だよりに掲載します。

優秀な作品には、10月に行なわれる普及啓発促進月間の奉仕作業の場において表彰します。奮ってご応募ください。

また、当委員会では、9月に交通安全教室を計画しております。

日程が決まり次第、会員に通知しますので多くの方の参加をお待ちしております。

講習会あれこれ

当センターでは、会員の就業機会の拡大と技能の向上を図るため、定期的に各種講習会を開催しています。

平成4年度下期に開催された講習会の一部を挙げてみます。



11月27日
草刈機取扱講習会
・刈払機の構造他
・実技 参加17名



11月5日
植木剪定等講習会
・造園の基礎
・松の剪定他
参加29名

その他にも清掃技能講習会なども行っています。

今後とも定期的に講習会を開催しますので、みなさんのふるっての参加をお待ちしています。

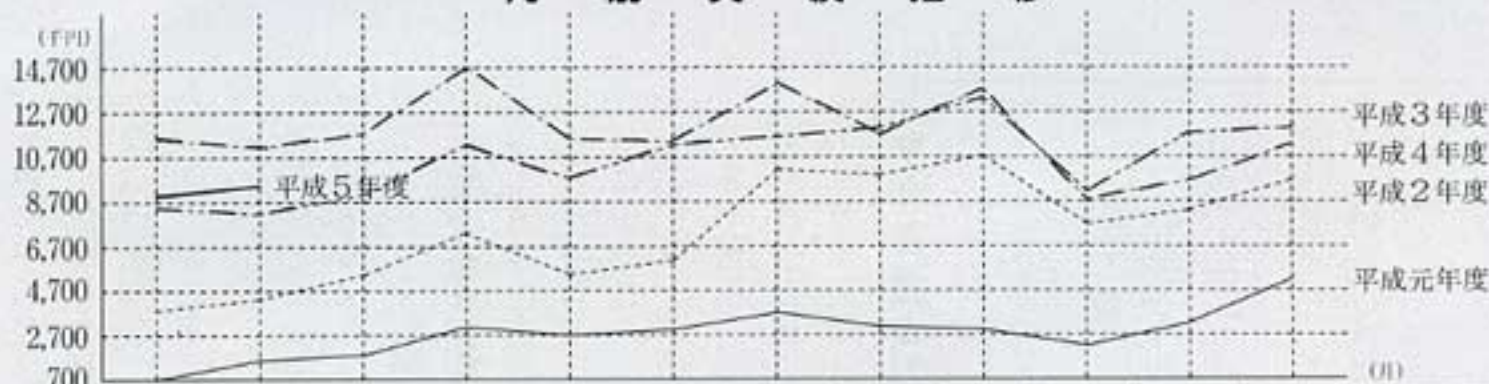


3月24日
家事援助サービス講習会
・料理講習
・介護教室 参加21名



12月8日
視・障子張替え講習会
・実技 参加14名

月別実績推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成元年度	743	1622	1736	2919	2688	2736	3640	3176	2830	2150	3007	4942	32,189
平成2年度	3611	4336	5416	7534	5709	6321	10226	10001	10695	7833	8573	9750	90,005
平成3年度	8612	8502	8972	11026	9852	10783	11619	11825	12961	9034	11967	12014	127,167
平成4年度	11149	10972	11748	14742	11142	11017	14301	11356	13604	8953	10011	11711	140,706
平成5年度	8991	9322											

(社)日向市シルバー人材センター地域班組織図

No.	地域名	班長氏名	副班長氏名	担当地区名
1	新町・塩見	寺原 正仁	矢北 孝明	上・中町、塩見外
2	富高 A	村矢 光雄	村田 サヨ子	草場、春原外
3	富高 B	河野 利秋	黒木 美義	本谷、西川内
4	財光寺 A	平塚 哲	河野 繁記	山下、長江
5	財光寺 B	治田 恵	井上 繁	比良、川路
6	財光寺 C	黒木 利光	河野 満	往還
7	財光寺 D	森岡 健二	島村 助男	切島山1・2、秋山外
8	財光寺 E	岩切 秋子	佐藤 ミトモ	松原
9	日知屋本郷 A	重成 初美	福田 政志	上・下原町、高砂外
10	日知屋本郷 B	安藤 稔	平田 勝	堀一方、曾根、畑浦
11	日知屋枝郷 A	寺原 茂英	佐藤 千栄子	亀崎、向江町外
12	日知屋枝郷 B	藤田 辰巳	山崎 宮子	日向台、花ヶ丘外
13	細島	黒木 菊芳	田嶋 光子	細島
14	平岩	田村 広繁		平岩
15	幸臨・美々津	村中 久三郎	岩黒 切木 ウメ 豊子	幸臨、美々津

事務局だより

高齢者の心得十ヶ条

事務局長 佐藤 保



人生八〇年時代です。こんな素晴らしい世代の中にあつて、「ボケ」という招かざる病状はそつと忍びよるものだそうです。

そこで、早くボケる十ヶ条とボケない十ヶ条を次記してみました。

早くぼける十ヶ条

- ①「オーイオーイ」と何んでも奥さんに頼る人。
- ②頑固一徹、融通のきかない人。
- ③無口、無表情、ムツツリ屋。
- ④無趣味、趣味は仕事という人。
- ⑤真正直すぎる人。
- ⑥なまけ者、無精者、ものぐさ。
- ⑦無信仰、神棚、仏壇なく、神社、仏閣に参らぬ人。
- ⑧孤独の人、友達と交際しない人。
- ⑨無神経、わがままな人。
- ⑩チャランポラン、食っちゃ寝の人。

ボケない十ヶ条

- ①常に感謝し、ゆとりのある人。
 - ②本や新聞を読み、日記をつける人。
 - ③手、足をよく使う人。
 - ④人の世話をする人。
 - ⑤ハイカラさん。
 - ⑥酒をたしなみ、歌を唄うなど陽気な人。
 - ⑦友達が多く、つきあいのよい人。
 - ⑧趣味が多く、理想をもつ人。
 - ⑨奉仕精神旺盛な人。
 - ⑩異性に関心を持ち続ける人。
- 以上の心得を守りながら自主自立、共働、共助により、地域社会に貢献し楽しい一生を過ごしましょう。

【作業日報の提出は

すみやかに。】

作業日報は、請求書と会員の皆様の配分金計算の基礎となるものです。

作業終了後ただちに提出して下さい。

作業日報の提出が遅れますと、皆さんの配分金の計算ができません。

遅くとも翌月三日までに必ず提出して下さい。

【変更届のお願い】

皆さんが入会した時に届けてある、住所・電話番号・配分金の振込口座などに変更があったら、速やかに事務局に連絡して下さい。

連絡がとれなかったり、配分金が振込めなくなったりしますのでよろしくお願ひします。

【配分金支払日】

- 〔七月〜十二月の支払日〕
- 七月十五日 (木)
- 八月十三日 (金)
- 九月十四日 (火)
- 十月十五日 (金)
- 十一月十五日 (月)
- 十二月十五日 (水)

▼会員逝去のお知らせ

次の方々が

故人となられました。

竹田 義夫様 (69才)

富高A地域班

平成五年五月十日

原田 好文様 (74才)

財光寺D地域班

平成五年五月二十八日

心よりお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

シルバー日向岬。

第五号の発行にあたり各班長經由で原稿を依頼したところ、10名の方より投稿いただきありがとうございます。

今回は総会記事をおりこむため発行が七月度となりましたが総会には多数の会員が出席いただき、総会・交流会・抽選会等予定時間通りスムーズに運び盛大に終わったことを、感謝いたします。

今後共会員の皆さんが会報作成に原稿を提出下さるようお願い申し上げます。

編集委員

森岡 健二・治田 恵

椎葉ハツノ

事務局職員

佐藤 保・兵頭 幸一

